

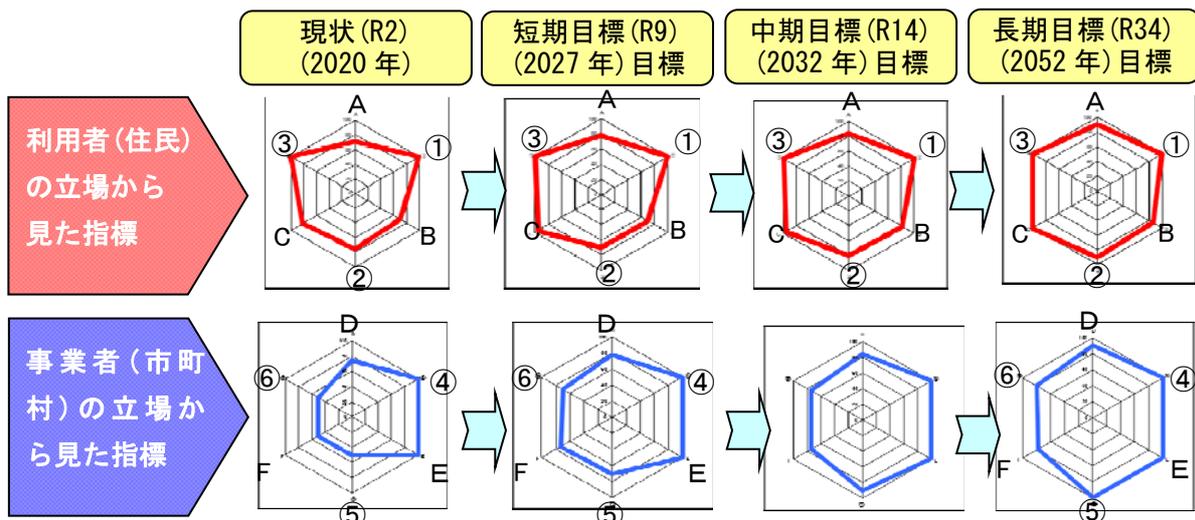
泰阜村『水循環・資源循環のみち2022』構想

令和4年度策定

泰阜村は、天竜川の支流が多く天竜川も流れる自然豊かな土地柄です。
この自然環境や水環境を後生に残すため、平成7年から生活排水対策（浄化槽）を進めてきましたが、人口減少や高齢化の進展など社会情勢の変化への対応が求められています。
また、浄化槽は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、今後とも適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。
このため、2010年から50年先を見据えた経営計画に基づき、処理場の統合、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、令和4年度に、従来の構想を見直して、30年後までの生活排水対策の構想である泰阜村「水循環・資源循環のみち2022」を策定しました。

泰阜村の指標と目標

泰阜村では、構想の長期目標年度である30年後の令和34年度に向けて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者から見た指標として、県下の統一指標の他、当村の現状を把握した上で、オリジナル指標を設定し、短期、中期、長期の目標を以下のとおり設定しました。



■利用者（住民）の立場から見た指標 ※指標の数値はR2→R9→R14→R34を表す。

(1) 暮らしの快適さと安全を表す評価項目

A 快適生活率(%)：74.4→77.9→83.6→90.5

※浄化槽の普及率を快適生活率としています。

① 満足指数：100→100→100→100

※生活排水の苦情は自然の汚れと解釈できるので生活排水関連で寄せられる年間の苦情件数で0を100%とし1件当たり5%減としました。

(2) 環境への配慮を表す評価項目

B 環境改善指数：62→70→82→86

※環境の把握状況等を入れてあります。

② 浄化槽法定検査適正率(%)：45→76→80→90

※浄化槽が適正に管理されていないと自然に悪影響があるので適正・おおむね適正判定された浄化槽の基数/設置基数の数値です。

(3) 生活との関連性を表す評価項目

C 情報公開実施指数：50→95.2→95.2→100.0

※ホームページ等で浄化槽の維持管理等の情報を公開している率です。

③ 環境学習率(%)：100→100→100→100

※環境学習をした小学4年生/全小4児童数で率を出します。

■事業者（市町村）の立場から見た指標

- (1) 事業の達成度を表す評価項目
- D 汚水処理人口普及率(%)：74.4→77.9→83.6→90.5
※浄化槽の普及率が汚水処理人口率になります。
 - ④ 浄化槽台帳の整備(%)：100→100→100→100
※浄化槽の台帳の整備は電子化している件数です。
- (2) 環境への貢献を表す評価項目
- E バイオマス利活用率(%)：100→100→100→100
※泰阜クリーンセンターは埋立処理をしているが将来利活用を検討します。
 - ⑤ 浄化槽法定検査適正率(%)：50→70→90→100
※浄化槽が適正に管理されていないと自然に悪影響があるので適正・おおむね適正判定された浄化槽の基数/設置基数の数値です。
- (3) 経営改善の状況を表す評価項目
- F 経営健全度(%)：50→73→74→78
※浄化槽全般にかかる費用や台帳の整備状況などがここに入ります。
 - ⑥ 浄化槽パトロール実施率(%)：50→70→75→80
※浄化槽の維持管理の状況等をパトロールにより確認をします。パトロール件数/設置基数

アクションプランへの取組

村内全域が浄化槽整備区域となっています。
浄化槽にて整備を進めます。

住民参画への取組

浄化槽の補助を受けた人には設置検査のときに代行管理者・施工業者・管理者の立会いを求め、適正な管理をお願いしています。



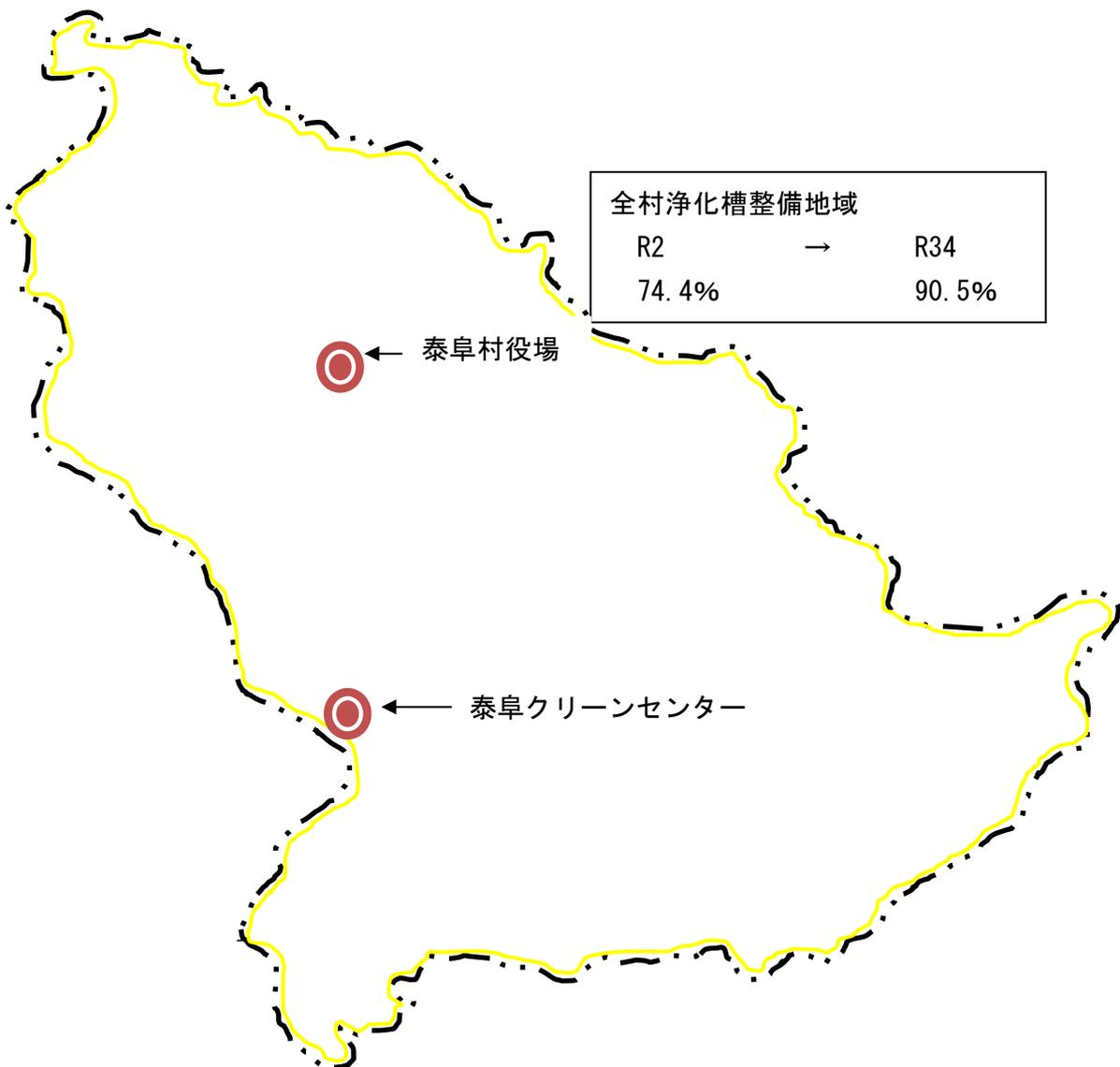
泰阜村『生活排水エリアマップ2022』

令和4年度策定

泰阜村の生活排水は、平成7年の浄化槽設置整備事業から始まり、浄化槽整備のみで生活排水の適正処理を行っています。

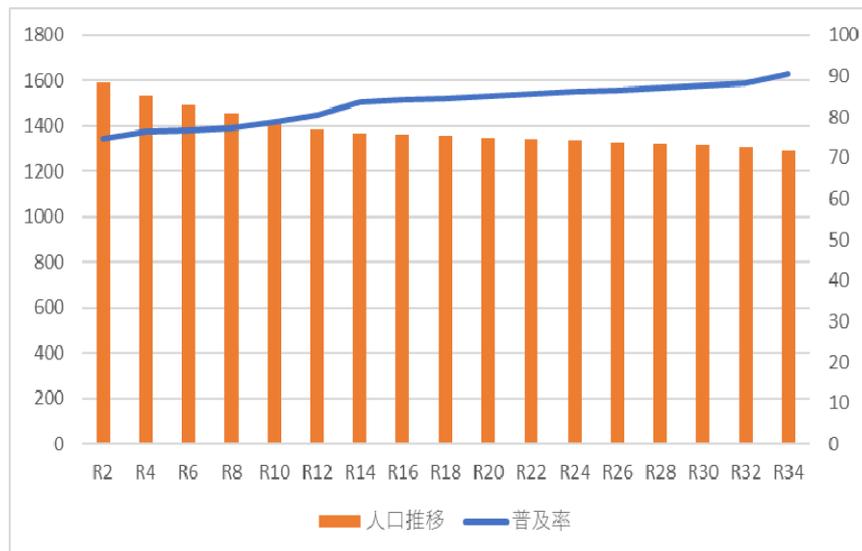
生活排水エリアマップ2022では、浄化槽整備を進め普及率が増えていくよう計画しました。（なお、詳細図については、別添図を参照）

生活排水エリアマップ2022（概要図）



■「生活排水エリアマップ2022」
村内全域が浄化槽整備区域となっています。

人口の推移と普及率の推移



人口は減少していくと思われませんが、年間 5 基程度の補助を行い普及率を上げていきたいと思えます。

アクションプランへの取組

① 未普及地域への取組

浄化槽整備事業により整備します。

② 浄化槽整備に関する取組

設置者を増やすために泰阜村では浄化槽設置補助をしています。

補助金は 5 人槽	400,000 円
7 人槽	600,000 円
10 人槽	800,000 円 を補助しています。

また、設置した後には浄化槽法で定められた 11 条検査がありますが、法定検査を県の浄化槽協会と一括契約をしています。

地震対策への取組

① 地震被害想定への取組

浄化槽台帳を整備し、被害想定 of 把握や設置者への周知の徹底をします。

② 地震対策の取組

機能保全是設置者各自にお願いをします。地震が発生し浄化槽が機能していないところは、借用体制を整備し機能している浄化槽を共用したり、山間部や隣近所と離れているところなどは簡易式のトイレの設置を検討します。

泰阜村『バイオマス利活用プラン2022』

令和4年度策定

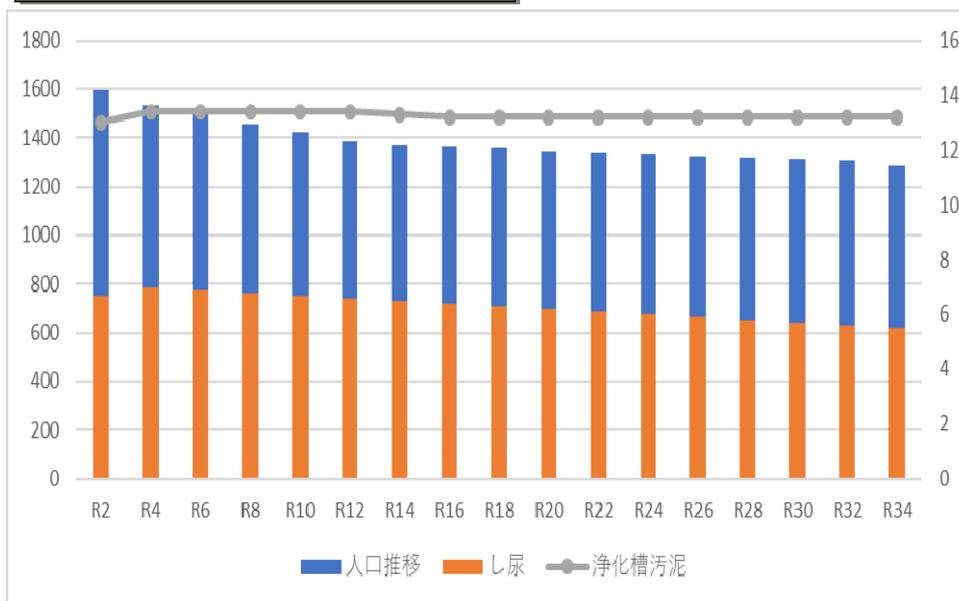
泰阜村の浄化槽やトイレから発生する汚泥（バイオマス）は、泰阜クリーンセンターで阿南町、天龍村、下条村、泰阜村、売木村の5町村が共同で処理を行っています。その処理方法は汚泥を脱水後民間業者により炭化され家畜の脱臭剤として利活用されています。
今後も共同で処理が行われるよう検討していきたいと考えています。

泰阜村におけるバイオマス利活用プラン

■汚泥処理の現状

- ・浄化槽汚泥は、し尿とともに泰阜クリーンセンターへ搬入しています。
- ・し尿は浄化槽設置整備事業により浄化槽が増えていくことによって減少していくと思われます。

「泰阜村」バイオマス発生量予測



し尿は年々減少
浄化槽は増加傾向

「泰阜村」バイオマス活用プラン

- 【短期】 ・浄化槽、し尿汚泥を泰阜クリーンセンターへ搬入
- 【中期】 ・浄化槽、し尿汚泥を泰阜クリーンセンターへ搬入
- 【長期】 ・浄化槽、し尿汚泥を泰阜クリーンセンターへ搬入

泰阜村『経営プラン2022』

令和4年度策定

泰阜村では、平成7年に浄化槽設置整備事業が開始し、村内全域が対象区域となっています。

2010年から50年先の状況まで見通した上で、構想の長期目標年度である30年後の令和34年度までに実現可能な改善計画を検討し、「経営プラン2022」を策定しました。

泰阜村における生活排水の経営計画

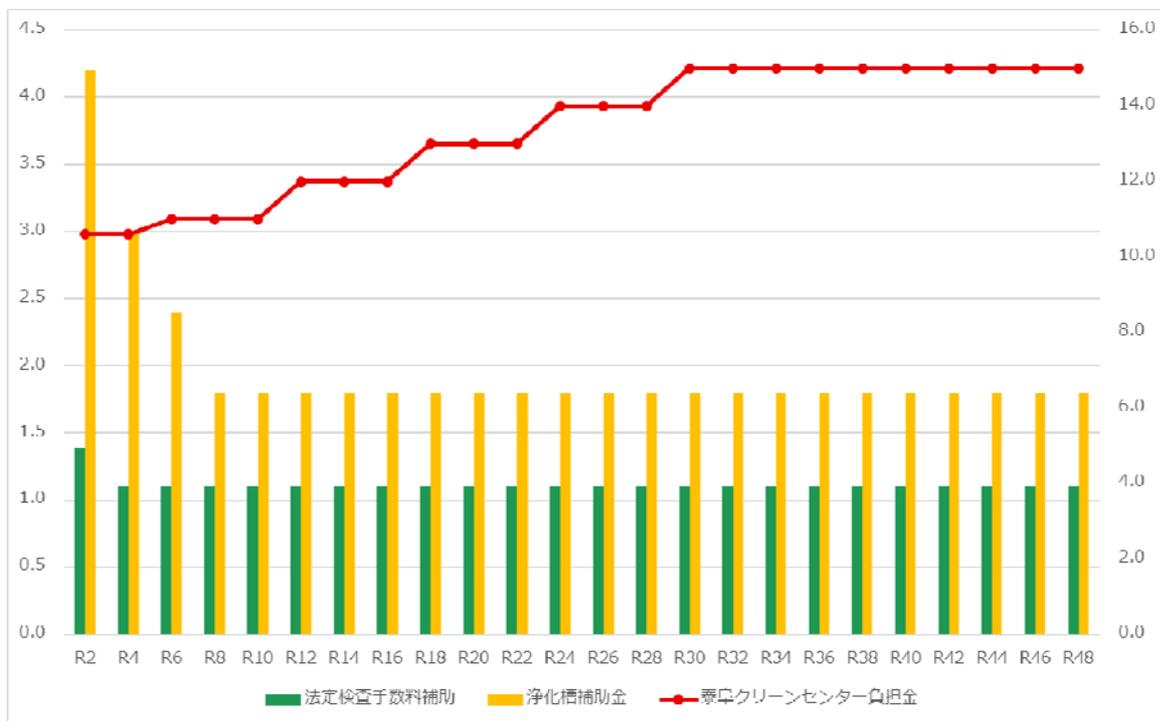
■浄化槽管理の方法

- ・浄化槽の法定検査を県浄化槽協会と一括契約をしています。
- ・浄化槽の設置補助も年5基程度計画をし、普及率を上げるよう計画します。

泰阜村における経営グラフ

法定検査手数料、補助金

泰阜クリーンセンター負担金



泰阜村の経営状況と将来

- 補助金
 - ・浄化槽の設置者に対して平成9年度から補助を行ってきました。年間で20基近い補助を行った年度もありますが、最近は減少傾向です。高齢者のみの住宅や空家の増加など整備に関して推進できにくい状況ではありますが、今後は年間5基程度の補助を行っていきたいと考えています。
- 法定検査手数料
 - ・毎年県の浄化槽協会と一括契約をして実施している法定検査の手数料について、設置基数の増加も考慮して、現在約250基検査している件数を増やすように検討しています。
- 泰阜クリーンセンター負担金
 - ・泰阜村から排出された汚泥は泰阜クリーンセンターで乾燥させ、家畜の脱臭材として利用しています。クリーンセンター負担金は人口の減少により排出量は減少傾向となるが、施設の維持修繕にかかる経費が増え負担金も増加していくと思われます。

補助金・検査手数料・負担金の推移

浄化槽補助金	平成30年度	補助金額 1,600,000円	3基設置
	平成31年度	補助金額 1,600,000円	3基設置
	令和2年度	補助金額 4,200,000円	7基設置
	令和3年度	補助金額 3,200,000円	6基設置
泰阜クリーンセンター負担金	平成30年度	負担金額 9,537,000円	
	平成31年度	負担金額 9,448,000円	
	令和2年度	負担金額 9,961,000円	
	令和3年度	負担金額 10,309,000円	
法定検査手数料	平成30年度	手数料額 645,000円	129基検査料負担
	平成31年度	手数料額 1,000,000円	200基検査料負担
	令和2年度	手数料額 1,390,000円	278基検査料負担
	令和3年度	手数料額 1,000,000円	200基検査料負担

現状把握と検証

泰阜村「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と検証を行いました。その結果を基に見直しを進めました。

泰阜村「水循環・資源循環のみち2015」構想の
現状把握と効果検証について

泰阜村「水循環・資源循環のみち2015」構想の第1回見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と効果検証を行いました。その結果を基に見直しを進めました。

指標	現状把握 (令和2年度末現在)		効果検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A:快適生活率	73.3	74.4	A指標は、目標以上に進んでいます。	A指標は、当初目標どおりに進めます。
①:満足度指数 (選択指標)	73.2	100	①指標は、100%を達成しました。	①指標は、100%を継続できるよう努めます。
B:環境改善指数	70	62	B指標は、目標達成しませんでした。	B指標は、河川清掃や環境美化運動等を行い村民へ環境について関心を持ってもらうよう努めます。
②:浄化槽法定検査適正率 (選択指標)	76	45	②指標は、目標達成しませんでした。	②指標は、浄化槽の正確な管理を進めます。
C:情報公開実施指数	78.6	50	C指標は、目標値におよびませんでした。	C指標は、情報を公開できるように進めます。
③:環境学習率 (選択指標)	100	100	③指標は、目標どおり進んでいます。	③指標は、当初目標どおりに進めます。
D:汚水処理人口普及率	73.3	74.4	D指標は、目標以上に進んでいます。	D指標は、当初目標どおりに進めます。
④:浄化槽台帳の整備率 (選択指標)	100	100	④指標は、目標どおり進んでいます。	④指標は、当初目標どおりに進めます。
E:バイオマス利活用指数	100	100	E指標は、100%を達成しました。	E指標は、100%を継続できるよう努めます。
⑤:浄化槽法定検査適正率 (選択指標)	76	50	⑤指標は、目標達成しませんでした。	⑤指標は、浄化槽の正確な管理を進めます。
F:浄化槽維持管理指数	63	50	F指標は、目標達成しませんでした。	F指標は、浄化槽の正確な管理を進めます。
⑥:浄化槽パトロール実施率 (選択指標)	64.4	50	⑥指標は、目標達成しませんでした。	⑥指標は、指標目標を高め設定して進めます。